

議員提出議案第 3 号 山本景市長に対する問責決議について

日本共産党を代表し、賛成の立場で討論いたします。

まず初めに、日本共産党は、山本市政が進める政策面においては、おりひめバスの運行・学校給食の無償化・小学校低学年の30人以下学級への教育環境の充実・小中学校の体育館へのエアコン設置やトイレの大規模改修・市役所庁舎の耐震化・加齢性難聴者への補聴器等購入助成、そして、緊防債や緊自債などを活用し交野市が長年抱え続けてきた土地開発公社への負債という重荷を軽減しようと財政運営の面でも工夫されてきたことなど、1期4年という短い任期の中で、交野市民の暮らしを守り支え、市政を前進させてくれたことについては評価をしています。

しかし、今回の決議文に書かれている差別的発言やハラスメントと受け止められるような行為などについては、私たちから見ても事実であると言わざるを得ません。また、この間の議会での発言や、市民に直接発する言動についても看過できないと感じることが繰り返されてきました。この事実を人権の尊重を党の綱領に位置付け、ハラスメント根絶をめざしている、日本共産党として容認することは、どうしてもできません。

市長とは、自分に投票した人だけでなく、自分の意見とは反対の人や、社会的に弱い立場に置かれている人も含めた「全市民の代表」であり、権力と影響力を持った公人です。 だからこそ、その発言や行動の根底にはいつも「日本国憲法に定める基本的人権の尊重や法の下での平等といった考え方に基づき、自分と考え方や意見が違う者であっても、全ての人の人権を尊重する義務を負っているのです。そのことを置き去りに、感情のままに、差別的発言や暴言、ハラスメントと言われかねない行動をとってしまうことは、その人の尊厳を傷つけるだけでなく、交野市の品位やイメージを傷つけ、行政の信頼と中立性を損なう重大な問題だと考えます。よって、市長におかれましては、この問責決議に書かれている内容の問題の本質を、真摯に受け止めていただき、発言や行動を改めていただきますよう、切に願い討論いたします。